

広報 NASUKARASUYAMA

那須烏山

— No.72 —

2011
September **9**
Public Relations Magazine
of Nasukarasuyama City

放射能問題(食の安心安全).....	2
節電情報.....	6
市政情報.....	7
まちの話題.....	12
インフォメーション.....	14



ダンスミュージカル公演(8月13日)

3月11日に発生し、本市にも大きな被害をもたらした東日本大震災。今月で6か月が経過しますが、東日本を中心とする被災地の復興には、まだまだ時間がかかるものと思われれます。

地震に伴う原発事故により、この夏の電力不足への対応として皆さんに節電をお願いしてきましたが、もう一つの大きな問題が放射能汚染に関することです。空間、土壌、さらには農産物などその影響の範囲は、当初の予想をはるかに超えるものとなっています。

震災復興には、今後も取り組みなければならぬことが多くありますが、コメの収穫期をむかえる今月号では、農産物を中心に放射能に関する栃木県内の状況や市の取り組みなどを紹介します。

特にコメは、日本人の主食となるもので、生産者、消費者それぞれの立場で関心が高い作物です。予備検査、本検査の2段階実施や強制的な処分を義務付けるなど、双方が安心できる検査体制を確立し、安全なものが市場に出回ることになりました。

◇

◇

◇

東日本大震災によって、東京電力の福島第一原子力発電所が被災し、大量の放射性物質が周囲に放出されました。その結果、東北や関東地方を中心とする地域の農畜産物や水産品から、暫定規制値(基準値)を超える放射性物質が検出され、市場への出荷が制限されるものも出ています。さらに、県内でも牛肉や腐葉土、荒茶や生茶葉などから基準値を超える放射性セシウムが検出され、出荷が制限されました。(既に制限解除となったものもあります。)

放射能問題

食の安心安全など市の取り組みをお知らせします

■放射能Q&A(その1)

Q放射線、放射能、放射性物質はどう違うのですか？

A放射線を出す物質を放射性物質といいます。

この放射性物質が放射線を出す現象または性質を放射能といいます。

放射線(ベータ線、ガンマ線、アルファ線、エックス線、中性子線などがある)

Q放射性ヨウ素や放射性セシウムとはどんなもの？

A放射線を出すヨウ素やセシウムのことで、ヨウ素131、ヨウ素133、セシウム134、セシウム137が主な放射性物質です。放射性ヨウ素からはベータ線、放射性セシウムからはベータ線とガンマ線が放出されます。

Qベクレル、シーベルトという単位がよく出てきますが？

A“ベクレル”(Bq)は、放射能の強さを表す単位です。

“シーベルト”(Sv)は、放射線の人体に与える影響を表す単位です。

ミリ(100分の1)

マイクロ(ミリの1000分の1)

Q暫定規制(基準)値とは？

Aこれまで、厚生労働省の食品の安全規制を定めた「食品衛生法」に放射能の規制がないため、今回の事故を受けて緊急に定められた規制値です。暫定規制値は、①放射性ヨウ素②放射性セシウム③ウラン④プルトニウム等の4つを考え、飲食物として①飲料水②牛乳・乳製品③野菜類④穀類⑤肉・卵・魚・その他、の5種類を対象とし、これらのすべての飲食物を1年間食べ続けることを前提として決められた指標です。暫定規制値以下であれば、1年間毎日食べ続けても問題はありませんが、どうしても気になる場合は、表面に付着している放射性物質をできるだけ取り除くために、野菜なら洗う、皮をむく、煮る(煮汁は捨てる)などで軽減が可能です。

コメの予備検査で放射性セシウム不検出

県内14か所で、作付け前に県が実施した水田土壌中の放射性セシウム調査により、本市をはじめとする全ての調査地点で、上限値の1kg当たり5千ベクレル以下であることが確認されました。

コメのモニタリング検査については、収穫前の予備検査と収穫後の本検査の2段階での実施となりました。放射性セシウムが暫定基準値の1kg当たり500ベクレルを超えた場合は、合併前の旧市町村単位で政府が出荷停止を指示し、その地域のコメは全量廃棄処分をすることが義務付けられました。

予備調査や強制的な廃棄処分を実施するのは、多くの作物のなかでもコメが初めてです。日本人の主食で消費量が多いことから、他の農産物に比べ細かく対応することになりました。

その予備調査の結果、200ベクレル以下の場合は、旧市町村単位で1か所以上の本検査を行い、200ベクレルを超えた市町村(重点調査区域)では、15ヘクタールごとに本検査を行います。この本検査の結果が判明するまで、市町村全域で出荷を自粛するよう要請されています。また、罰則を設けて、規制値を超えるコメが一切出回らない仕組みづくりが行われました。

本市では、8月22日に下江川地区で予備検査(下の写真)が行われ、その結果、放射性セシウムは検出されませんでした。本検査は、9月上旬に旧町村単位の6か所で行い、検査結果が公表される予定です。

また、県ではコメの他にもさまざまな農産物の検査を行い、結果を公表(4ページ参照)しています。市内の農産物等では、長ネギ、シユンギク、アユ、梅、牧草、夏ソバ、かぼちゃ、二条大麦、小麦、六条大麦、デントコーンなどの検査が行われ、いずれも基準値を超える放射性セシウムは検出されず、安全性が確認されました。

コメの出荷まで(モニタリング調査)

【暫定基準値】放射性セシウム500Bq/kg

【予備検査】

下江川地区：放射性セシウム不検出(8/26公表)

【本調査】高濃度地域を重点検査

基準以下

出荷

基準超過

出荷停止(廃棄処分)

栃木県の肉牛が一時出荷停止に

出荷頭数(年間約5万5千頭)で、全国5位と屈指の「畜産王国」の栃木県。その栃木県産牛肉から国の暫定基準値(1kg当たり500ベクレル)を超える放射性セシウムが検出されたことから、政府は8月2日、県全域の肉牛出荷をすべて停止するよう栃木県知事に指示しました。肉牛の出荷停止は福島、宮城、岩手県に次いで4県目。原発事故後に汚染された稲わらを牛に与えたことなどが、原因として考えられています。県では、全戸検査から全頭検査に切り替える方針を決定していたところでの出荷停止でした。

出荷停止が解除される条件は、適切な飼育管理の徹底と検査体制の確立でした。県が示した検査体制や汚染稲わらの管理方法などを了承し、政府は8月25日に栃木県産肉牛の出荷停止を解除しました。これを受け8月29日から検査を開始し、県産肉牛の出荷が再び始まりました。栃木県に

食品衛生法適合(放射性物質)確認済農産物

栃木県では次の農産物が放射性物質に関し、食品衛生法に適合していることを確認しています。安心してお召し上がりください。(H23.8.25現在)

果菜類：きゅうり、トマト、加工用トマト、かぼちゃ、
なす、いちご、夏秋いちご、かんぴょう

葉菜類：ほうれん草、みずな、かき菜、春菊、レタス、
キャベツ、にら、モロヘイヤ

茎菜類：うど、ねぎ、たまねぎ、アスパラガス、にんにく

花蕾類：ブロッコリー

根菜類：にんじん、大根、かぶ

いも類：馬鈴薯、里芋

豆 類：いんげん、枝豆

穀物類：スイートコーン

果実類：ぶどう、うめ、ブルーベリー、もも、なし、りんご

穀 類：そば

菌茸類：しいたけ

畜産物：牛乳、豚肉、鶏卵

水産物：鮎、ヒメマス、ヤシオマス

放射能問題 「食の安心安全など」

おける牛肉の検査方法は、「汚染稲わらを与えた疑いがある」(県内43戸)と「それ以外」に大別し、全頭に簡易検査を実施するものです。(5ページ参照)

なお、今後は県を中心に風評被害対策のイベント開催が計画されています。

県内アユ(那珂川など)も基準値以下

県は8月9・11日に、那珂川(茂木町、那珂川町)など県内3河川4か所で、天然アユの放射性物質検査を実施しました。結果はいずれも国の暫定基準値以下でした。4検体の放射性セシウムは73・360ベクレル(基準は1kg当たり500ベクレル)で、放射性ヨウ素(同2千ベクレル)は検出されませんでした。

放射性物質の 農産物や健康への影響を講演

鳥山公民館で7月26日、「放射性物質の農産物や健康への影響」と題した講演会及び意見交換会が開催されました。

講師の(独)放射線医学総合研究所放射線防護研究センターの米原英典さんは、放射線の生物に対する影響の研究や、その結果の広報活動をしている研究プログラムのリーダーをされています。

講演は、絵や数値を効果的に使ったわかりやすい説明で「皆さんには正しい知識を身につけてもらい、情報に惑わされないでほしい」と述べました。

その後の意見交換会では、農産

物への影響や子どもへのリスクなどさまざまな質問が飛び出し、参加者は熱心に耳を傾けていました。

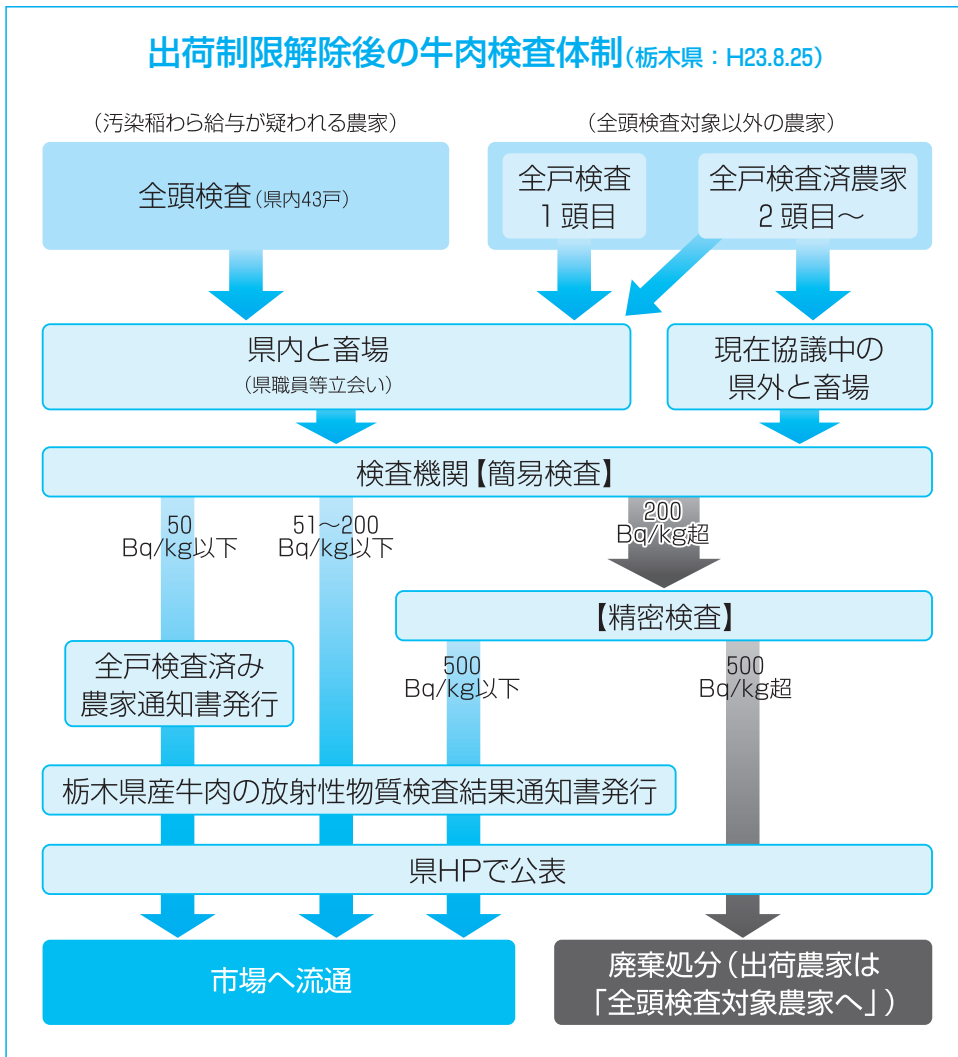


「情報に惑わされないで」と米原さん。

小中学校・幼稚園で「マイクロシールド」を目安に

8月26日、文部科学省は小中学校や幼稚園の校庭・園庭での放射線量として、新たに毎時1マイクロシールドとの目安を示しました。この線量では、学校で過ごす間の被ばく量が0.534ミリシールドになり、一般人の上限の年1ミリシールドを下回るようになります。（1ミリは1千マイクロ）

学校等の市内施設では、今後も毎日放射線量を測定して状況を把握するとともに、毎週ホームページなどで結果を公表していきます。



ヒマワリ栽培土壌の放射能検査

このほど、市では食の安心安全推進事業で栽培されたヒマワリについて、熊田地区と興野地区の2か所で、土壌とヒマワリ(茎・葉など)の放射性セシウム量などの検査を実施しました。

検査結果については、後日お知らせ版や市ホームページでお知らせします。

内部被ばくを心配する声も

市民の間では、内部被ばくへの関心も高まってきています。特に小さいお子さんを持つ保護者から、外部被ばくのみならず、内部被ばくを心配する声が寄せられています。市では、現状把握のために検査体制を整備し、各種検査結果をすみやかに情報提供するとともに、状況に応じて必要な対応をとっていきます。

◇ ◇ ◇

これらの検査結果は、当地域の安全性の目安となるとともに、基準を満たしたものが市場に出回ること、食の安全を守り消費者の安心と生産者の風評対策につながっていくものと考えられます。

今後も引き続き各種調査を継続しその結果を公表するとともに、新たな情報については広報紙やお知らせ版、ホームページなどでお知らせします。

■放射能Q&A(その2)

Q 外部被ばくと内部被ばくはどう違うのですか？

A 放射線を受けることを被ばくといいます。放射線の受け方により、外部被ばくと内部被ばくに分けられます。

外部被ばく(レントゲンのように体の外にある放射線の発生源(放射性物質など)から出る放射線を受けること)。

内部被ばく(放射性物質が含まれるものを飲み込んだり、空気を吸ったりして、体内に放射性物質が入り、それにより放射線を受けること)。

Q 外部被ばくを防ぐ方法は？

A 次の3原則に注意してください。

- ① 放射線の発生源(放射性物質)から距離をとること。
- ② 放射線を鉄、鉛、コンクリートなどで遮へいすること。
- ③ 放射線を受ける時間を短くすること。

4庁舎で36・8%の節電達成

引き続き節電にご協力ください！

東日本大震災の影響により、今なお電力供給の不安定な状況が続いています。みなさんには、今夏の電力不足による節電にご協力いただきありがとうございます。計画停電も回避され、厳しい暑さもピークを過ぎましたが、これまでの市における節電への取り組みや、効果（実績）などについてお知らせします。

ためておくことが難しい電気。電力需要のピークを迎える夏場に、深刻な電力不足が心配されるなか、東京電力は「計画停電」は原則実施しないという方針を出しました。その一方で、一般家庭や企業に対し、使用電力15%削減を目標に節電への協力をお願いしました。

これを受け市では、「節電対策基本方針」を6月に策定し、節電に取り組んできました。市民に節電をお願いするにあたり、市役所もひとつの事業所として、一般よりさらに厳しい20%削減を目標としました。エアコンは、室温が30度を超えた場合に、午後のみ稼働させ、事務室照明は間引き点灯とするなどし、8月分の電気使用量が4つの庁舎の合計で36・8

%削減となりました。（左表）

また、市民を対象とした節電キャンペーンには、8月31日現在80件の応募がありました。削減率の高い世帯では、太陽光発電システムの導入やエアコンの利用制限などが大きな効果をもたらしたようです。

暑さも落ち着いてきましたが、この電力不足は今後も当分の間続くと思われます。夏には、扇風機が一斉に品薄となるなどの事態も発生しましたので、冬季の節電に向けても、早めの準備をお願いします。

暑さも落ち着いてきましたが、この電力不足は今後も当分の間続くと思われます。夏には、扇風機が一斉に品薄となるなどの事態も発生しましたので、冬季の節電に向けても、早めの準備をお願いします。

市節電対策基本方針（抜粋）

○取組の基本的方向性

①市民による節電対策

【節電目標】15%削減を目指す

- ・節電達成者への優遇措置の新設
- ・節電効果が見込まれる補助制度の導入
- ・エコ住宅改修の普及拡大

②事業者による節電対策

【節電目標】15%削減を目指す

- ・既存の制度拡充や運用方法の見直し
- ・商店街街路灯の高効率化

③市役所による節電対策

【節電目標】20%削減を目指す

- ・公共施設においても利用者に協力依頼
- ・契約電力の引き下げ等に努める
- ・節電効果の「見える化」を図り公表

○8月分市庁舎節電状況（単位：kWh）

施設名	22年度	23年度	増減率
烏山庁舎	26,071	15,968	－38.8%
南那須庁舎	21,998	12,756	－42.0%
保健福祉センター	25,500	18,195	－28.7%
水道庁舎	3,110	1,579	－49.2%
合 計	76,679	48,498	－36.8%

節電達成者の取り組み

■環境課 ☎ 0287-831120

太陽光発電の設置で節電

小田倉勝久さん（興野）

昨年10月に7・68kWの太陽光発電パネルを納屋の屋根に設置しました。5人家族で昨年8

月分の電気使用量が688kWh、今年が同343kWhと約46%の節電ができました。設置するまでは半信半疑で、これほど効果があるとは思いませんでした。電気代が半減し売電もできて、設置してよかったです。設置費が高額なため、市でも太陽光発電に対する助成があれば、もっと一般家庭にも普及すると思います。



納屋の屋根に設置された太陽光パネル。

エアコンの利用制限で節電

室園 智紀さん（大金）

この夏は、6台あるエアコンをほとんど使わず、扇風機で過ごしました。夜は一人ひとつずつ、ア

イス枕を使用しています。使わない電化製品のプラグはコンセントから抜き、24時間使っていない空気清浄機も今年は使っていません。4人家族で、昨年7月には293kWhだった電気使用量が、今年は192kWhと約34%の削減となり、自分でも驚いています。グリーンカーテンなど、やれることはいろいろありました。



今年の夏、大活躍のアイス枕を手にする娘さん。

9月10日～16日
自殺予防週間
「気づく・傾聴・つなぐ・見守る」で自殺予防

毎年、全国で3万人、栃木県では500人を超える方が自殺によって亡くなっています。その内8割は、うつ病をはじめとするこころの病気にかかっていたこともわかっています。

では、自殺を予防するためには具体的にどうすればいいのでしょうか。

次の4つの視点「気づく・傾聴・つなぐ・見守る」が重要となります。
【気づく】「あれ？何かへんだな。いつもと違う感じがする…。」

周囲の人の様子の変化に気がついたら、「どうしたの？」と声をかけてみましょう。

【傾聴】悩みを話してくれたら、出来る限り、話を聴きましょう。

【つなぐ】必要に応じて、専門家への相談を勧め、相談窓口に関する情報を伝えてみましょう。

【見守る】温かく寄り添いながら、じっくりと見守り、自然に声をかけるなど、焦らずに対応していきましょう。

●気分の落ち込み、不眠等はこころの病気のサインかもしれません。早めにサインをキャッチし、相談や受診によりうつ病や自殺を予防しましょう。

●追い詰められている人は自らの苦しさを「死にたい」など自殺願望の言葉で表現し、別れの準備、態度の変化、自傷行為など、周囲の人に言葉や行動で訴えています。
◎うつ病かも：自殺が心配：と思ったら、こころの健康相談窓口へご相談ください。

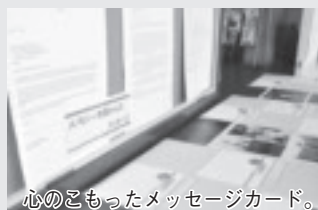
平成22年自殺者数及び自殺死亡率
(内閣府 研究班)

	自殺者数(人)	自殺死亡率
全 国	31,655	24.9
栃木県	539	26.9
那須烏山市	10	33.0

※自殺死亡率とは、人口10万人あたりの死者数。
※那須烏山市は、栃木県内でも自殺死亡率が高い。

メノモニーから応援メッセージ

本市と姉妹都市の関係にあるアメリカのメノモニー市から、震災復興を願う市民のメッセージカードと市長の手紙が贈られました。これまで中学生の海外派遣事業などで交流を深めてきましたが、今年は震災の影響で中止となりました。これらのメッセージは、当分の間、市役所南那須庁舎ロビーに掲示してあります。



心のごもったメッセージカード。

こころを元気にする
キャラクター



こころのダイヤル
栃木のちの電話
☎ 028-673-8341
☎ 028-643-7830

〈電話相談〉

（電話・来所相談）
栃木県精神保健福祉センター
☎ 028-673-8785
栃木県山健康福祉センター
☎ 0287-82-2231
那須烏山市健康福祉課
☎ 0287-88-7115

■市の工事請負等契約

(前月20日までの入札結果、単位は千円、250万円以上)

事業名	箇所	業者名	金額	工期
業務系・情報系システム再構築サーバ・ネットワーク機器導入(5年間リース)	中央1丁目(市役所)	(株)富士通マーケティング	153,065	11/1～H28/10/31
業務系・情報系システム再構築クライアント機器導入(5年間リース)	中央1丁目(市役所)	(株)富士通マーケティング	30,951	11/1～H28/10/31
野上神長線道路整備工事その1	野上	(株)平野建設	47,250	8/1～12/9
大桶小志鳥境線道路整備工事その1	大桶	矢澤建設(株)	31,290	8/2～11/14
大桶小志鳥境線道路整備工事その2	大桶	森島建設(有)	29,190	8/4～11/16
龍門ふるさと民芸館屋根修繕工事	滝	(株)平野建設	10,605	8/5～10/3
愛宕台団地内市有地測量設計業務委託その1	愛宕台	(株)三進	2,940	8/18～9/30
道路維持管理業務委託 東部地区 その1	市内	(有)田村建設	2,940	8/25～10/31
道路維持管理業務委託 西部地区 その1	市内	木島興業(有)	3,024	8/25～10/31
道路維持管理業務委託 南部地区 その1	市内	(有)板橋建設	2,961	8/25～10/31
道路維持管理業務委託 北部地区 その1	市内	(有)相河組	2,940	8/24～10/31
江川小学校災害復旧工事	志鳥	荒井工業(株)	7,875	8/25～10/31
境小学校災害復旧工事	上境	森島建設(有)	6,667	8/29～10/31
平成23年度 地籍調査事業 横枕Ⅲ、横枕Ⅳ、向田Ⅱ、曲田Ⅰ、曲田Ⅱ、曲畑Ⅵ地区測量業務委託	横枕、向田、曲田、曲畑地先	(株)ニッコー	11,235	8/22～3/26

※入札等に関するお問い合わせは、総務課管財係☎0287-83-1111まで。

子ども議会を開催

小中学生が議場で議会を体験

参加児童生徒と質問事項(敬称略)

■小学校の部(6年生)

議長・足立和音(鳥山小)

8月8日、市内の小中学生に「議会を体験してもらい、まちづくりへの関心を高めてもらおうと、市役所議場で子ども議会を開催しました。小学生10人、中学生8人が次のような質問をし、議長も児童生徒が務めました。

(荒川小学校における放射線の土壌への影響について)

■中学校の部(3年生)

議長・福田詩絵莉(荒川中)

①佐藤優 環境少東日本大震災で被災した市民への支援について②関愛実 環境少環境に優しいエネルギーの供給について③澤村祐樹(鳥山小) 防災無線について④伊藤由布子(鳥山小) 子ども達が外遊びしやすい環境づくりについて⑤阿相瑠華(七合小学校) 学校の図書館について⑥駒場紀之(七合小) 楽しい那須烏山市にするために⑦大嶋慎吾(荒川小) 安全な学校について⑧小池玲奈(荒川小) いかんべ祭について⑨木村健太(荒川小) 市営バスの運行について⑩仲山嘉奈

①久保田真(鳥山小) 地盤・地質調査について②三浦幹太(鳥山小) 少子化について③佐藤圭(七合中) 福島第1原子力発電所の事故による放射線対策について④松澤あすか(七合中) 七合中学校廃校後の施設利用計画について⑤川田直(下江川中) 街灯について⑥青山怜佳(下江川中) 横断歩道がなくて危険な場所がある⑦葛西和(荒川中) 英語コミュニケーションシヨン科について⑧佐藤律(荒川中) 消防再編について



大谷市長を囲んで参加者のみなさん。



子ども議会で質問する小学生。



中学生も質問者席から質問。

大木己芳さん・青木とみ子さん 熊本のねんりんピック大会に出場

10月15日から18日まで熊本県で開催される「第24回全国健康福祉祭(通称:ねんりんピック)くまもと大会」に、大木己芳さん(野上)と青木とみ子さん(森田)が出場することになりました。

2人は栃木県を代表し、マラソンの部に出場します。8月24日には、全国大会出場にむけ大谷範雄市長を訪れました。



全国出場の大木さん(中央)と青木さん(右)。

食育プチ情報

今月は…『里芋』



《効果》

- ・胃腸の粘膜を保護
- ・肝機能を高める
- ・免疫を高め、風邪やがん予防
- ・細胞を活性化して老化防止
- ・消化促進、整腸作用、便秘解消

★排泄作用がスゴイ!

一般的に8月下旬〜10月が旬と言われる里芋。日本へは縄文時代に伝わり、稲作よりも歴史が古いと言われています。里芋は、親芋に小芋、さらに孫芋とたくさん芋がつくことから、子孫繁栄の象徴として、お正月などの行事食によく使われます。

【里芋のことがスゴイ!】

★ヌルヌル成分(ムチン・ガラクトン)がスゴイ!

【1日の目安量】

中サイズ…2〜3個

■健康福祉課

☎0287-88-7115

市教育委員会会報

23年度「第1四半期」
4～6月

第5回教育委員会(4月26日)

○平成23年度那須烏山市立小中学校主任等の協議を承認

○平成23年度那須烏山市立小中学校評議員の委嘱を承認

○平成23年度市費非常勤講師等の配置を承認

○那須烏山市生涯学習指導員の任命を承認

○那須烏山市烏山地区公民館管理人の委嘱を承認

○那須烏山市教育委員会事務局等組織及び処務規則の一部改正を承認

○平成22年度那須烏山市教育費予算の補正を承認

○平成23年度那須烏山市教育費予算の補正を承認

○要保護及び準要保護児童生徒の認定を決定

第6回教育委員会(5月24日)

○那須烏山市教育委員会関係職員の人事異動内示を承認

○就学指定校の変更を承認

○平成23年度那須烏山市教育費予算の補正を決定

第7回教育委員会(6月23日)

○那須烏山市教育委員会事務局等組織及び処務規則の一部改正を承認

○那須烏山市教育委員会公印規則の一部改正を承認

○要保護及び準要保護児童生徒の認定を決定

☆4/8 中学校入学式出席

☆4/11 小学校入学式出席

☆5/18 塩谷南那須地区市町教育委員会連合会定例会出席

☆5/21 七合小春季運動会出席

☆6/1 荒川中体育祭出席

☆6/4 江川小・境小春季運動会出席

文化の違いや
自然の大切さを学ぶ



沖縄で海洋体験

シリーズ 市の文化財 第5回

宮原八幡宮本殿(宮原)

(平成3年 栃木県指定有形文化財)



宮原八幡宮は、延暦14年(795)、坂上田村麻呂が蝦夷征討の勝利を祈願し、筑紫に宇佐八幡を勧請したのが起源とされ、明応2年(1493)烏山城の拡張に伴い、時の城主那須資実が現在の地に遷社したと言われています。

本殿は、三間社流造りの建築様式で、柱などに檜鉋で削られた痕跡が見られるなど、古式技法が随所に残されています。また、内部の内陣扉には、永禄3年(1560)那須資胤が奉納したことを示す花押(自筆のサイン)があることから、室町時代後期(約450年前)頃には建造されていたと推測されます。

現在は、平成5年から3年をかけて行われた修理事業によって、朱色も鮮やかな本殿に復元されています。 ■生涯学習課 ☎0287-88-6223

沖縄で体験する「B&G海洋体験セミナー」が、7月25日から29日までの4泊5日で行われました。本市から荒川小6年の平間史保さんが参加し、5日間の活動を通して、貴重な体験をしました。感想文の一部を抜粋して紹介します。

B & G 海洋体験セミナーに参加して
荒川小6年 平間史保

出発する前は、友達ができるかととても心配でしたが、鹿児島や広島や茨城の人と友達になることができました。他県の友達と話せて、たくさん事を学びました。

1日目はサンゴ風鈴を作りました。2日目はマリンスポーツを5種類やり、貴重な体験ができました。

B&Gがプール修繕費を助成

市では、南那須B&G海洋センターを屋内化するなど、施設の全面的なリニューアルを行います。この改修費1億2千万円のうち、3千万円がB&G財団から助成されることになりました。

8月4日には、市長室で助成決定書授与式が行われ、広渡英治同財団専務理事から大谷範雄市長に決定書が手渡されました。



広渡専務理事(右)から決定書が授与される。

た。美ら海水族館見学、シュノーケリング、マングローブ観察などを行い、最終日には首里城公園に行きました。首里城正殿や内部を見て、文化の違いを感じました。栃木には海がないので、こんな

にきれいでめずらしい生き物がいる海に入れて感動しました。最近の海にはゴミがあると聞きました。サンゴや美しい魚が住める海を汚さないように、大切にしていかねばいけないと思いました。

平成22年度 情報公開及び個人情報保護制度の 運用状況

市では、公正で開かれた市政を推進するために「情報公開条例」により市が持っている情報(公文書)を市民のみなさんからの請求に応じて公開しています。

また、市が持っている個人情報を適正に取り扱うために「個人情報保護条例」を設け、これにより市が持っている個人情報の開示を求めることができます。また、その情報に誤りがあると認める場合には、訂正や利用の停止を求めることができます。

これらの条例による「情報公開制度」及び「個人情報保護制度」の運用状況は、毎年1回、公表することになっています。

平成22年度の運用状況は、次のとおりです。

情報公開条例による公開請求 (H22.4.1～H23.3.31)

実施機関	担当課	請求件数	処理状況			不服申立て
			公開	部分公開	非公開	
市長	総合政策課	3	3	—	—	—
	総務課	6	5	1	—	—
	税務課	1	1	—	—	—
	市民課	4	1	3	—	—
	健康福祉課	2	2	—	—	—
	こども課	1	1	—	—	—
	農政課	2	1	1	—	—
	商工観光課	2	2	—	—	—
	都市建設課	1	1	—	—	—
	上下水道課	5	5	—	—	—
教育委員会	学校教育課	3	1	2	—	—
	生涯学習課	2	1	1	—	—
合 計		32	24	8	—	—

※部分公開とした理由は、個人に関する保護情報や、法人に関する保護情報などに該当する部分があったため。

個人情報保護条例による開示請求等

個人情報に関する開示請求、訂正請求及び利用停止請求はありませんでした。

【問い合わせ】総務課人事行政係 ☎0287-83-1111



第6回花いっぱい運動

大沢長寿会が3年連続最優秀賞

市内を緑あふれる明るいまちにしようと進めている「花いっぱい運動」(市教育委員会主催)の審査会が8月2日、市内全域で行われ大沢長寿会(佐藤清志代表)が3年連続で最優秀賞に輝きました。

審査項目は、花壇の配置・配色や生育状況、取組状況などの5項目について現地調査を行い、事前に提出された写真等も考慮し、総合点で評価しました。

最も高く評価された大沢長寿会の花壇は、その見栄え、管理状況に審査員も目を見張りました。なお、8月19日には、上位8団体に池澤進教育長より表彰状が手渡されました。

結果及び参加団体は次のとおりです。

最優秀賞…大沢長寿会(写真は裏表紙に掲載)

優秀賞…大金いきいきクラブ、三箇下いきいきクラブ

優良賞…下境下稻積長寿会、神長老友会、寄り処堀ノ内、曲畑いきいきクラブ、東原3班ボランティア

その他の参加団体…木須川を愛する会、大桶上百寿会、小倉自治会、大桶下いきいきクラブ、母子寡婦福祉会、熊田西自治会公民館、横枕スポーツ愛好会、下境川辺自治会、下境上シルバークラブ、谷浅見上老人会、月次いきいきクラブ、あたご寿会、藤田自治会、野上地区女性会(順不同)

